
7. 鎌倉市の取り組み

障害者二千人雇用事業の主な取り組み

■ 二千人という目標設定について

鎌倉市の障害者手帳所持者のうち稼働年齢層の18歳以上65歳未満の方は2,696人（平成29年3月時点）です。

平成29年3月に実施した18歳以上を対象にした、障害者福祉計画策定に係るアンケート調査のなかで、就労に関しての結果を基に、障害者就労者数を1,245人と推計しました。

この推計をもとに本市の目標設定にあたっては、既に取組を行っている岡山県総社市の目標人数の設定を参考に、本市の稼働年齢層のうち未就労者1,451人にも、可能な範囲で活躍できるよう、就労者数を勘案して障害者雇用2,000人を目標と設定しました。

■ 障害者二千人雇用センター

障害者の社会参加、自立に向け、障害者雇用を促進することを目的とした「鎌倉市障害者二千人雇用センター」を平成30年度に福祉センター内に開設しました。障害者二千人雇用センターでは、障害者の「働きたい」「働き続けたい」、企業の「雇用したい」「雇用し続けたい」をサポートしています。

■ ワークステーションかまくら

働きたい障害者がいきいきと地域で働けるように、障害者雇用2,000人を目指す第一歩として、市役所が先導して取り組むものとして、平成30年4月に鎌倉市役所本庁舎内に開設しました。

ワークステーションかまくらは、一般就労に向けて、仕事のスキルや社会性を身につけてもらうことを目的としており、スキルアップをするための支援を行うものです。障害者スタッフ8人を配置するほか、障害者スタッフを支援する支援員3人（作業療法士、社会福祉士、精神保健福祉士の有資格者）、市職員1人の合計12人体制で運営しています。

短時間勤務の導入

ワークステーションかまくらでは、令和元年度から1日3時間の短時間勤務を導入しました。短時間勤務は、障害特性や体力の関係から、長時間の勤務が難しい方を対象としています。

短時間勤務を導入することで、長時間の勤務が難しい方でも就労経験を積む機会を得ることができ、長時間勤務の方と同様に、一般就労に向けた仕事のスキルや社会性を身につけることができます。

■ その他取り組み内容

障害者二千人雇用センターやワークステーションかまくら以外にも、雇用奨励金や就職面接会、障害者雇用に関する講演会など、さまざまな取り組みを行っています。その他の取り組みについては、本市ホームページをご覧ください。